



## 平成29年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月3日

上場会社名 株式会社クリエイティブSDホールディングス  
 コード番号 3148 URL <http://www.createsdhd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 山崎哲也  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 045-914-8241

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	182,587	6.5	10,598	1.6	10,828	1.1	7,347	5.9
28年5月期第3四半期	171,410	9.0	10,433	40.0	10,715	40.0	6,941	47.7

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 7,401百万円 (6.4%) 28年5月期第3四半期 6,959百万円 (48.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	116.23	
28年5月期第3四半期	109.80	

(注) 当社は、平成27年12月16日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	100,367	59,089	58.9
28年5月期	99,334	53,585	53.9

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 59,089百万円 28年5月期 53,585百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期		35.00		15.00	
29年5月期		15.00			
29年5月期(予想)				16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年12月16日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成28年5月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,700	6.8	14,700	5.3	15,000	4.8	9,700	4.6	153.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	66,819,342 株	28年5月期	66,819,342 株
期末自己株式数	29年5月期3Q	3,600,486 株	28年5月期	3,600,486 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	63,218,856 株	28年5月期3Q	63,218,870 株

(注)当社は、平成27年12月16日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。  
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、実質賃金上昇などにより緩やかな景気回復の動きが見られたものの、米国新政府の施策に対する警戒感、原油価格や為替相場の動向、消費税増税に対する節約志向などから先行きの不透明感は増しております。

ドラッグストア業界におきましては、競合他社の出店や価格競争の激化に加え、他業種からの参入や企業の統合・再編の動きが増加しつつあり、依然厳しい環境がつづいております。

このような状況の中、当社グループは「セルフメディケーションを力強くサポートし、総合的な地域医療に貢献する」企業を目指して、ドラッグストア事業、有料老人ホーム事業及びデイサービス事業を展開しております。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、小商圏において繰り返しご来店いただけるための利便性の向上に継続して取り組んでまいりました。

売上高につきましては、利便性向上のために取り組んでおります品揃えの拡充や購入頻度の高い商品のEDLP(エブリデイ・ロープライス)施策により来店頻度が向上したことに加え、客単価上昇の影響もあり既存店売上が前期を上回る結果となりました。

利益面につきましては、第2四半期から季節商品が好調に推移したことや、前期に引き続き高付加価値品の展開を実施したこと、納価交渉や調剤部門の伸長により売上総利益率が改善いたしました。一方で人員増強や時給単価の上昇、採用費の増加などにより人件費が増加し、経費率は悪化いたしました。しかしながら営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前期を上回る結果となりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、22店舗の出店を行いました。一方でスクラップアンドビルドにより2店舗、契約期間の満了により1店舗の閉鎖を行いました。

調剤薬局につきましては、地域医療に貢献する「かかりつけ薬局」を目指し、薬剤師の育成に注力するとともに既存薬局のボトムアップを図ってまいりました。それに伴い処方箋応需枚数も順調に増加し、引き続きの増収となりました。個人宅に処方箋に基づいたお薬をお届けする「訪問服薬指導」についても、在宅ニーズに対応して実施しております。

薬局の新規出店につきましては、ドラッグストアへの併設調剤薬局を9店舗開設し、ドラッグストアへの併設調剤薬局1店舗を移転拡大して調剤専門薬局として開局、また新規に1店舗の調剤専門薬局を開局いたしました。一方で、経営効率化の観点から調剤専門薬局2店舗の閉鎖を行いました。

#### <有料老人ホーム事業>

有料老人ホーム事業につきましては、入居一時金なしの安価な老人ホームやサービス付高齢者向け住宅の増加など、サービス、形態の多様化が進んでおります。

当第3四半期連結累計期間におきましては、季節に応じた多彩なイベントやペットと一緒に暮らせるお部屋など、当社ならではの特徴をホームページ等を通じてアピールし、入居率の向上を図ってまいりました。

#### <デイサービス事業>

デイサービス事業につきましては、要支援・要介護の方の歩行など生活機能の維持改善のためのトレーニングを行う機能訓練型デイサービスセンターを運営しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、認知症予防トレーニングの導入を行い、また、前年に10人から16人に定員拡大した施設を中心に営業を強化し、稼働率の向上を図ってまいりました。

以上により、当第3四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数はドラッグストア490店舗、調剤薬局では調剤専門薬局32店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局118店舗の合計150店舗となり、有料老人ホーム事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービス事業ではデイサービスセンター41施設となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高182,587百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は10,598百万円(前年同期比1.6%増)、経常利益は10,828百万円(前年同期比1.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,347百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は100,367百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,032百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が2,903百万円、商品が211百万円増加し、有価証券が4,000百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は41,277百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,472百万円減少いたしました。主な要因は、ポイント引当金が160百万円増加し、買掛金が2,292百万円、未払法人税等が1,481百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は59,089百万円となり、前連結会計年度末に比べて5,504百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払により1,896百万円減少、親会社株主に帰属する四半期純利益7,347百万円を計上したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の連結業績予想については、現時点では平成28年7月11日に公表した業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,354	20,258
売掛金	4,997	4,657
有価証券	9,000	5,000
商品	22,191	22,403
その他	7,336	6,784
流動資産合計	60,879	59,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,760	10,508
土地	4,726	5,076
その他(純額)	3,679	3,972
有形固定資産合計	18,166	19,558
無形固定資産		
のれん	460	416
その他	271	224
無形固定資産合計	731	641
投資その他の資産		
長期貸付金	7,675	7,761
敷金及び保証金	7,841	8,085
その他	4,067	5,245
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	19,556	21,064
固定資産合計	38,455	41,263
資産合計	99,334	100,367
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,338	28,046
未払法人税等	2,816	1,334
賞与引当金	199	875
役員賞与引当金	100	90
ポイント引当金	2,530	2,690
店舗閉鎖損失引当金	-	3
資産除去債務	1	15
その他	5,774	4,021
流動負債合計	41,760	37,077
固定負債		
退職給付に係る負債	1,238	1,412
資産除去債務	1,942	2,036
転貸損失引当金	56	52
その他	751	698
固定負債合計	3,989	4,199
負債合計	45,749	41,277

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	56,291	61,742
自己株式	△4,392	△4,392
株主資本合計	53,833	59,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	16
退職給付に係る調整累計額	△268	△210
その他の包括利益累計額合計	△248	△194
純資産合計	53,585	59,089
負債純資産合計	99,334	100,367



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	171,410	182,587
売上原価	124,636	132,415
売上総利益	46,773	50,172
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	2,490	2,690
給料及び手当	13,607	15,228
賞与引当金繰入額	764	834
役員賞与引当金繰入額	86	92
退職給付費用	202	269
減価償却費	2,100	2,098
地代家賃	7,480	8,010
その他	9,608	10,350
販売費及び一般管理費合計	36,340	39,573
営業利益	10,433	10,598
営業外収益		
受取利息	104	90
受取配当金	1	1
貸倒引当金戻入額	38	-
固定資産受贈益	76	65
その他	62	75
営業外収益合計	283	233
営業外費用		
支払利息	0	0
支払補償費	0	0
その他	0	1
営業外費用合計	1	3
経常利益	10,715	10,828
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
補助金収入	-	7
受取補償金	29	-
その他	1	-
特別利益合計	31	8
特別損失		
会員権評価損	9	-
減損損失	4	-
店舗閉鎖損失	0	0
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	3
固定資産除却損	0	2
固定資産圧縮損	-	7
その他	-	0
特別損失合計	14	13
税金等調整前四半期純利益	10,732	10,823
法人税等	3,791	3,475
四半期純利益	6,941	7,347
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,941	7,347

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	6,941	7,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△3
退職給付に係る調整額	15	57
その他の包括利益合計	17	53
四半期包括利益	6,959	7,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,959	7,401
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報に記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)

当社グループは、ドラッグストア事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報に記載を省略しております。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## (1) 販売実績

## ①事業別売上実績

当第3四半期連結累計期間における売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	42,970	107.0
OTC	29,543	105.9
調剤薬局	13,427	109.4
化粧品	26,378	105.6
食料品	69,950	107.4
日用雑貨品	31,107	105.3
その他	10,787	104.8
小計	181,194	106.5
有料老人ホーム事業	484	99.2
デイサービス事業	909	112.5
合計	182,587	106.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②地区別売上実績

当第3四半期連結累計期間における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	103,434	60.3	111,552	61.1
東京都	26,390	15.4	27,605	15.1
静岡県	22,463	13.1	23,779	13.0
千葉県	8,489	5.0	9,057	5.0
その他	10,632	6.2	10,593	5.8
合計	171,410	100.0	182,587	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間における仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	25,999	105.0
OTC	17,538	103.3
調剤薬局	8,461	108.8
化粧品	16,759	105.4
食料品	58,253	107.0
日用雑貨品	21,925	102.8
その他	8,309	105.1
小計	131,247	105.5
有料老人ホーム事業	—	—
デイサービス事業	—	—
合計	131,247	105.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。